

## 組織学・発生学

[講義] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○教授 / 建部 廣明 takebeh@ 助教 / 岸本 有里 y-seki035@

## 【概要】

本科目では、人体を構成する細胞および組織について、顕微鏡レベルでの構造と人体の発生過程の概略を学ぶ。続いて、歯や歯周組織を含む口腔組織について、組織構造と発生過程の基礎を理解する。これらを通して、今後の組織学・発生学を学修するための基盤を築くことを目的とする。

## 【学修目標】

- 細胞の構造を説明する。
- 上皮組織を形態的及び機能的に分類する。
- 結合組織の線維要素と細胞要素を説明する。
- 軟骨組織の分類および特徴を説明する。
- 骨組織の構造及び発生を説明する。
- 筋組織（骨格筋、平滑筋、心筋）の構造を説明する。
- 中枢神経系と末梢神経系の構造を説明する。
- 血球の種類を説明する。
- 歯の硬組織（エナメル質、象牙質、セメント質）の構造を説明する。
- エナメル質、象牙質の加齢変化を説明する。
- 歯髓の構造と機能を説明する。
- 歯根膜、歯肉、歯槽骨の構造と機能を説明する。
- 歯と歯周組織の発生の過程を説明する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	細胞と組織 1. 細胞の構造と機能	組織が細胞から構成されることを理解する。 細胞膜の構造を説明する。 細胞小器官の構造と機能を理解する。 核の構造と機能を学ぶ。 「入門組織学」P.3 - P.21 (A-1-4-1)	建部 廣明
2	2. 細胞の一生 3. 上皮組織 4. 外分泌腺の構造 5. 分泌の様式	細胞周期と細胞分裂を理解する。 上皮組織を形態的に分類する。 腺を分泌物の性状および分泌様式から分類する。 「入門組織学」P.22 - P.44 (A-1-4-1, -5, A-3-1-1-1~-3, A-1-5-1)	建部 廣明
3	6. 支持組織 1) 結合組織 2) 軟骨組織	結合組織の細胞と線維要素を理解する。 軟骨組織の構造と機能を学ぶ。 「入門組織学」P.45 - P.61 (A-3-1-2-1, -2)	建部 廣明
4	3) 骨組織 4) 筋組織 5) 神経組織 6) 血液	骨組織の構造と機能を学ぶ。 筋組織の構造と機能を学ぶ。 神経組織の構造と機能を学ぶ。 血球の形態と機能を理解する。 「入門組織学」P.61-P.98, P119-P126 (A-3-1-4-5)	建部 廣明
5	組織学のまとめ	全身の諸組織の組織学的構造について復習、総括する。	建部 廣明 岸本 有里

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	歯および歯周組織の構造と機能 1. エナメル質の性状 2. エナメル質の構造	エナメル質の物理化学的性状を理解する。 エナメル質の組織構造と特徴を理解する。 「口腔組織・発生学」P.35-P.39 (A-3-4-4)	建部 廣明
7	3. 象牙質の性状 4. 象牙質の構造 5. 象牙質の石灰化様式	象牙質の物理化学的性状を理解する。 象牙質の組織構造と特徴を理解する。 「口腔組織・発生学」P.41-P.44 (A-3-4-4)	建部 廣明
8	6. 歯髄表層の細胞分布 7. エナメル質、象牙質の加齢変化	歯髄の組織構造を理解する。 「口腔組織・発生学」P.45-P.47 (A-3-4-5) エナメル質、象牙質の加齢変化を理解する。 「口腔組織・発生学」P.39,P47 (A-2-4-8)	建部 廣明
9	8. セメント質の性状 9. セメント質の構造、分類	歯髄の組織構造と機能を学ぶ。 セメント質の特徴、物理化学的性質及び組織構造を学ぶ。 「口腔組織・発生学」P.47-P.49 (A-3-4-7)	建部 廣明
10	口腔組織学のまとめ	口腔の諸組織の組織学的構造について復習、総括する。	建部 廣明 岸本 有里
11 ) 13	歯の発生	歯胚の形成ステージを学ぶ。 象牙質形成を学ぶ。 エナメル質形成を学ぶ。 歯根および歯周組織の形成を理解する。 「口腔の発生と組織」P.68-P.73 (A-2-4-1)	建部 廣明
14	顔面と口蓋の発生	顔面の形成過程を学ぶ。 口蓋の発生を学ぶ。 「口腔組織・発生学」P.74-P.81 (A-2-1-1--4,A-2-4-1--3)	建部 廣明
15	発生学のまとめ	歯、顔面および口蓋の発生について復習、総括する。	建部 廣明 岸本 有里

## 【授業実施形態】

## 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験(筆記試験)80%、レポート 20%

## 【教科書】

「入門組織学」改訂第2版 牛木 辰夫 著 南山堂

「歯科国試パーフェクトマスター 口腔組織・発生学」第2版 中村 浩彰 著 医歯薬出版

## 【備考】

講義は配布プリントまたはGoogle classroomにアップロードしたファイルを用いて行う。

## 【学修の準備】

講義内容について、授業前に教科書の該当部分で予習する(45分)。

講義ノートと配布されたプリントを復習し、教科書を用いて疑問点を再確認する(45分)。

## 【ディプロマポリシー（学位授与方針との関連）】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づい

( 2026年度・歯学部 )

た問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。(科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

**【実務経験】**

建部 廣明(歯科医師)、岸本 有里(歯科医師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に生きる講義を実践している。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している